

ケース学習をします。今回は、2 回目以降のセッションも含めて考えて行くやや長いケース学習です。今月は前半（初回+2 回目）で、来月後半（2 回目+3 回目）です。

今月は初回のセッション内容を分析することを中心に進めて行きます。クライアントのシミリマムレメディを探って行きましょう。そして、初回レメディを飲んだ後の 2 回目のセッション内容までをお渡しして、前半を終える予定です。

また、今回は「マヤズム傾向」にも注目して考えて行きます。

マヤズム傾向のキーワード

PSORA 痒みのある皮膚湿疹／欠乏・不足・機能低下・希望

SYCOSIS イボ、良性腫瘍、尿道分泌物／過剰・充溢・機能亢進・弱さを隠蔽

TUB 結核疾患・呼吸器疾患／活動過多・窒息感・変化への希求

CANCER 悪性腫瘍・癌的疾患／抑圧・完璧・自己コントロール

SYPHILIS 悪性疾患、潰瘍／逸脱・破壊・変性・絶望・自殺傾向

ご存知の通りケース学習の取り組み方の順序は、以下の通りです。

1. まず、ケースを一読して、ケースの①印象を書き留める。
2. 再読して、クライアントの特徴的な点（症状）をピックアップする。
3. ピックアップした特徴的な点の全体を眺める。
4. これらを元に、「前分析」を試みる。

②健康度（0～10）

③予後（良いレメディがある時／レメディがない時）は、どうなるか？

④救急性（急性か慢性か～救急性があれば、そこから始める）

⑤治癒を妨げているものは？

⑥親和性（部位）

⑦マヤズム傾向（Psora Sycosis Syphilis Cancer TB 等）

⑧全体性（ケースでの乱れはどこにあり、レメディはいくつ必要になるか？）

⑨バイタリティー

5. 本分析＝「何が癒されるべきか？」（病の核心）をとらえる。

6. 「何が癒されるべきか？」から外れない症状を Rubrics として選び、Rep.する。

7. Rep.表の候補レメディから、ベストレメディを選ぶ。

8. 最終的には、ポテンシーとドーズを決めて、クライアントに提案する。

さて、いつも通りケース学習では、この教室を出たら、その内容について話すことなく、守秘義務を守って下さい。

では、始めましょう。